

## 令和3年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史B (看護医療専門コース)	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「日本史B 新訂版」(実教出版)						
副教材等	図説日本史通覧(株式会社帝国書院)						

### 1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- 1、文献史料を読むこと、ICT機器、写真資料、実物教材にふれることで日本史学習への関心と意欲を高める。
- 2、年表、地図その他の資料を活用し、基本的な日本歴史の知識を身につけさせる。
- 3、世界史的視野に立って、日本の歴史を考察する。

### 2. 学習の到達目標

- 1、日本史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させる。
- 2、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせる
- 3、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

### 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用 of 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きる課題を追求する。	日本歴史の展開、文化と伝統の特色について、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察する。また、個々にまたはグループで調べ学習を通じて学び、発表等を通じて多くを学ぶ。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、その過程や結果を個人で、またはグループによる協同で適切に表現する。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての事項を、世界史的視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につける。
評 価 方 法	授業中の発言や質問、課題への積極的な取り組み姿勢(ノートやプリントの積極的な提出)	文章表現能力の確認(考査における論述や発表会における相互評価など点数化する)	発表における文献、絵画、地図などの資料の適切な活用を相互評価とともに、担当者による点数評価をおこなう。	課題や小テスト、定期考査などにおいて知識定着を確認、点数化によって評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

### 4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期 (前半)	日本文化の あけぼの	原始・古代の日本の様子	○		○	○	a: 原始・古代の日本社会の成り立ち変遷に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、積極的な態度である。 b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的・多面的な考察ができる。 c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
	古代日本の 社会と文化	奈良時代の社会と文化	○		○	○		
		平安時代の社会と文化	○		○	○		
	中世日本の 社会と文化	院政期から鎌倉幕府	○	○		○		
1 学期 (後半)	中世後期日本 の社会と文化	元寇と鎌倉幕府の滅亡 建武政権と室町幕府	○	○		○	a: 「中世国家」成立に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、積極的な態度である。 b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的・多面的な考察ができる。 c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
	戦国時代から 織豊政権期の 社会と文化	室町幕府と北山文化	○		○	○		
		下剋上の社会と 庶民の台頭		○	○	○		
		信長・秀吉の政権	○	○		○		
2 学期 (前半)	近世日本の 社会と文化	江戸幕府と国際関係 幕藩体制の展開と元禄文化・化政文化	○	○		○	a: 近世と近代日本の社会と文化に関心を持ち、意欲的、積極的な態度である。 b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的・多面的な考察ができる。 c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
	近代への転換	三大改革と幕藩体制の矛盾	○		○	○		
		開国・明治維新 四民平等と富国強兵		○	○	○		
		初期の外交と国内政治 文明開化	○	○	○	○		
2 学期 (後半)	近代国家の 形成	民権運動の展開 立憲政治への道	○	○		○	a: 近代政治に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、積極的な態度である。 b: 日本の歴史を世界の動きと関連付けて考え、多角的・多面的な考察ができる。 c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる d: 基本的な用語・事項を理解し、世界の動きと関連付けて理解している。	小テスト 課題プリント 発言 定期考査
		初期議会と日清戦争 政党の進出と日露戦争	○	○		○		
		産業革命と社会の変化		○	○	○		
	両大戦間の 日本と市民文化	近代文化の形成と展開 第一次世界大戦	○	○	○	○		

3 学 期	十五年戦争 と日本	大戦後の内外環境 政党政治の展開	○		○	○	a: 近現代国家変遷に関心 を持ち、意欲的に授業に 集中し、積極的な態度で ある。
		市民文化の展開 満州事変	○	○	○	○	b: 日本の歴史を世界の動 きと関連付けて考え、多角 的・多面的な考察ができ る。
		日中戦争 アジア・太平洋戦争 占領と民主改革	○	○	○	○	c: 諸史料を読みこなし、有 用な情報を選択して、自分 でまとめる
	現代の日本 と新しい文 化	サンフランシスコ講和会 議と安保体制 高度経済成長下の日本	○	○	○	○	d: 基本的な用語・事項を 理解し、世界の動きと関連 付けて理解している。

小テスト  
課題プリン  
ト  
発言  
定期考査

※ 表中の観点について      a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
   c: 資料活用の技能      d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。